

経営比較分析表（平成28年度決算）

福島県 浅川町

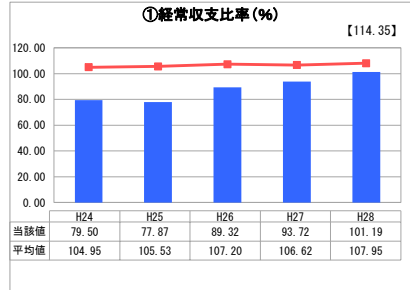
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	70.85	98.81	3,510	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,622	37.43	176.92
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,296	36.50	172.49

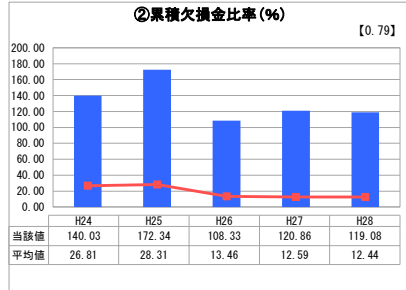
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

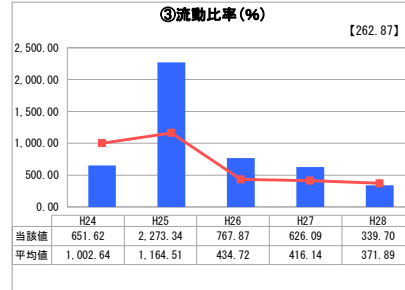
1. 経営の健全性・効率性



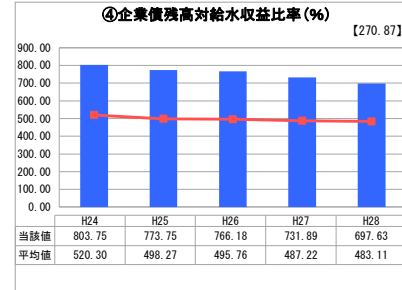
「経常損益」



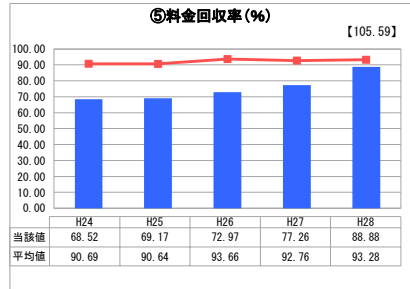
「累積欠損」



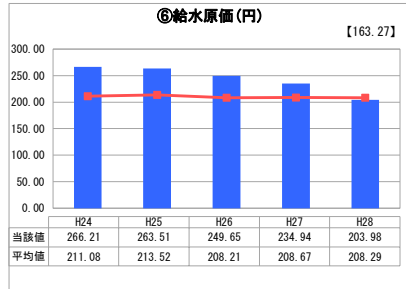
「支払能力」



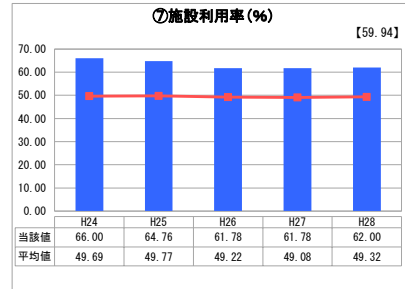
「債務残高」



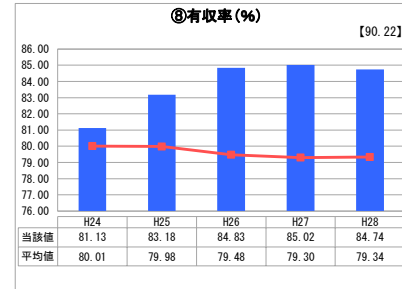
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

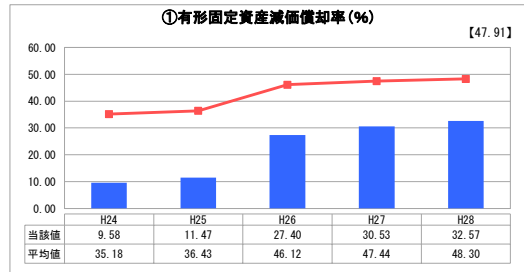


「施設の効率性」

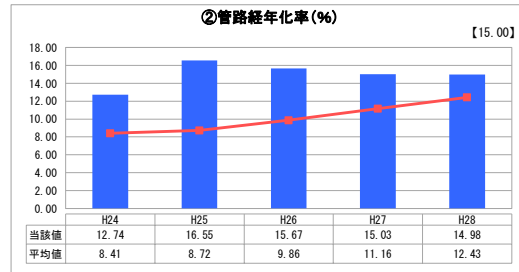


「供給した配水量の効率性」

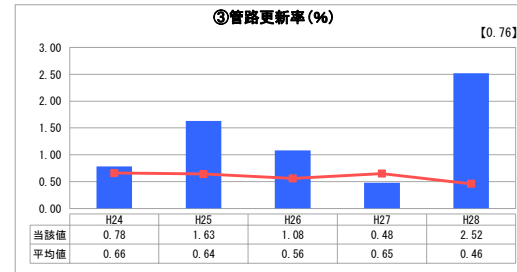
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 平成28年度は黒字となったが、依然として類似団体平均値を下回っているため、経営の見直しを行い経常収支比率の向上に努める。
- 累積欠損比率を減少させるためにも、経費削減等を行い健全経営を目指す。
- 流動比率は、100%以上であるが年々減少しており支払能力を高めるための改善が必要である。
- 平均値と比べ数値が高い、企業債償還金の負担が大きく経営を圧迫する要因となっている。
- 平均値より低い上昇傾向であるため、これからも料金回収率の向上に努める。
- 減少傾向であるため、経費削減や施設を効率的に利用し給水原価を抑えていきたい。
- 平均値を上回っており、施設の利用状況は適正である。
- 漏水対策等を実施し、有収率のさらなる向上に努める。

2. 老朽化の状況について

- 平均値よりは低い数値となっているが、更新時期を迎える施設もあり経営状況を見ながら更新を行ってきたい。
- 管路経年化率は平均値より高い状況であるため、計画的に管路の更新を行う必要がある。
- 管路更新率は平均を上回っており、耐震化等も含め管路の更新を行ってきたい。

全体総括

経営の健全性は決して良好であるとは言えないため、経費削減に努め料金改定も検討しながら経営を行う必要がある。管路については石綿管等の老朽管も残っており、漏水対策等も実施しながら更新を計画的に実施する。施設の更新や統廃合を含め今後どうしていくかを見直し、水道事業経営の健全化、効率化を目指していきたい。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。